

事業の背景・目的

白神山地の持続可能な環境を残しつつサステナブル・ツーリズムのメッカを目指す事でローカルのグリーントランスフォーメーションを進め、地元企業とも連携しグリーン商品の開発・販売を進めカーボンニュートラル時代の観光市場喚起し地域振興を目指す。

世界自然遺産白神山地の裾野にある里山では登山技術等が無くても、白神の自然体験や生物多様性保全の取組が可能であるが、取組は進んでいない。また、当該地は過疎高齢化が進み、里山管理が不十分になっている。当事業は白神山地周辺の里山で林産物活用やサスティナブル・ツーリズムの創発を推進し、交流人口増加や地域振興、里山の持続可能な管理等を目指す。また、手軽に楽しんで自然体験や里山管理を行うことで、SDGsや生物多様性保全の浸透も図る。



事業の内容

林産物活用商品として、クロモジ等のアロマオイル等の開発を目指す。白神山地サスティナブル・ツーリズムの創発に向けて、ゆるキャン等の新商品（プログラム）開発、モニターツアーの実施、ガイド養成等を実施する。

事業① 白神の里山の林産物活用事業

- ・クロモジ・杉・ひば・リンゴ・トウヒ等アウトドアスプレーの商品開発を実施
- ・草木染の材料採取し、媒染量見本帳の作成
- ・アロマオイルの可能性を開発(テントサウナーウォーターやボディソープ・シャンプー等のケアの可能性試作中)



事業② 里山のサステナブルツーリズム事業

- ・夏期テント泊のモニター実施
- ・冬期キャンプ飯、テント、スノーハイクスキーを使った冬場のモニター実施
- ・夏冬のプログラム100作成中

事業③ キャンプ・スノーハイクガイド養成講座事業

- ・白神の里山を五感を使ったプログラムの開発の実施
- ・ワークショップで、内容の検証
- ・動画・静止画の取材でHP・PR作成中
- ・ガイド養成講座は水害により2年目に本格実施

得られた成果

3つの事業、すべてが予定通りに近い進捗となった。ただ8月半ばの線状降水帯の影響による大水害の影響で、白神山地へのアクセス道路の通行止めとガイド研修の進捗ができなかった。



- ・白神で採取した国産精油の蒸留水を活用したアウトドア防虫・除菌スプレーを開発した。次年度の可能性にたどり着く
- ・白神の里山から採取した草木染め材料(イタドリ・ヨモギ・栗・桜等)で媒染量見本帳を作成
- ・若い人達のゆるキャンや企業研修の可能性、夏冬の白神の里での新しいコンテンツの挑戦が見えてきた
- ・今まで、白神のキャンプやキャンプ泊、特に冬企画がなかったので、静止画・動画の取材ができ、次年度のHP・PRにつながりができた。

以上の事を今回の事業で前進することができ、白神の里山でのサステナブル・ツーリズムの取り組みを国内・海外を含めて情報発信し、アクティブなプログラムへの展開も見えてきたので、引き続き2023年度は磨きをかけていきたい。